

清潔で美しくすこやかな習慣

快適で使いやすい製品やサービス、情報提供を通じて、人々の、より清潔で美しく、すこやかな習慣に貢献します。

社会的課題

地球温暖化	<ul style="list-style-type: none"> 紫外線増加による皮膚ダメージ 熱中症の増加
衛生環境変化	<ul style="list-style-type: none"> 感染症の増加 公衆衛生や衛生習慣の格差拡大
女性活躍の阻害	<ul style="list-style-type: none"> 身体の成長や発達、加齢やライフスタイルの変化に伴う心身の不調
多様性への対応不足	<ul style="list-style-type: none"> 製品、サービスのベネフィットを公正に享受できない アクセシビリティが不十分

新型コロナウイルス感染症の収束が依然見えない中、引き続き、清潔の重要性が再認識されています。

方針

人々の生活スタイルや価値観が変化する中、安心して暮らせ、人生が輝くお手伝いができる清潔・衛生商品を提供すると共に、日々の衛生習慣・行動や心身のお手入れを無理なく続けることのできる啓発活動を、「誰も取り残さない」という考えのもと、学校、地域、他企業等と連携して推進。真にすこやかな暮らしの実現に貢献していきます。また、今後は、欧米諸国をはじめ、アジア地域において衛生習慣の定着が進むよう、より積極的に活動していきます。

戦略

リスクと機会

リスク

「地球温暖化」「衛生環境変化」「女性活躍の阻害」「多様性への対応」などの社会課題への取り組みや人々のニーズの変化に対応した啓発活動でないと、生活者や社会の共感を得ることが困難になり、その結果、花王の企業価値やブランド価値の低下を招き、収益性やマーケット競争力を低下させる可能性があります。また、パンデミックにより、現場で行っている啓発活動が制限される側面もあります。

機会

こうした変化やリスクをチャンスとして捉え、企業活動を推進していくことが重要であると考えています。

戦略

人々の、より清潔で美しく、すこやかな習慣に貢献するため、花王は、多くのリーディングブランドを通してお客さまに商品をお届けし、数多くの技術や知見、サービスにより効果的に提供していくことができます。また、これらの資産や総合力を生かし、志を共にする教育機関・公共団体・自治体などとの横断的なコラボレーションにより、商品、サービスをより進化させ、広めていくことが可能となります。

社会的インパクト

清潔で美しくすこやかな習慣が定着することにより、生活の質の向上や衛生状況の改善、感染症リスクの軽減につながることを期待できます。

貢献するSDGs



事業インパクト

手洗い習慣がある日本においては、子どもの頃から衛生行動を学び、習慣化することによりハンドソープや消毒液、除菌関連製品の使用率や使用頻度の拡大が見込まれます。また、こうした日本の衛生習慣を海外に広めていくことによりアジアにおいても衛生習慣が高まることで、衛生関連製品のマーケットの飛躍的な拡大に貢献します。

清潔で美しくすこやかな習慣

GRI3-3, 404-2

ガバナンス

体制

取締役会の監督のもと、「清潔で美しくすこやかな習慣」に関するリスク管理は内部統制委員会で、機会管理はESGコミッティで行っています。これら委員会の委員長はともに代表取締役 社長執行役員が務めています。

「清潔で美しくすこやかな習慣」に関するリスク管理は、内部統制委員会(年2回開催)とその下部組織のリスク・危機管理委員会(年4回開催)で実施しています。委員長はコーポレート戦略部門担当役員が務めています。

「清潔で美しくすこやかな習慣」に関する機会管理は、ESGコミッティ(年6回開催)で実施しています。外部有識者で構成されるESG 外部アドバイザーボードがESGコミッティの諮問に対する答申や提言を行い、社外の視点を経営に反映し、ESG 推進会議がESG 戦略を遂行します。

P18 Our ESG Vision and Strategy > ガバナンス

教育と浸透

花王では2009年から2019年にかけて、全社員のESG活動への参画を促す一環として、小学校低学年を対象とした「手洗い講座」をはじめとする出張授業を行ってきました。社員が参加することにより子どもを含めた生活者と直接コミュニケーションをとることで、

製品開発に活かされていました。

しかし、コロナ禍において小学校に社員が出張して授業をすることにより、感染を広げてしまう懸念がある一方で、コロナ禍だからこそ、より多くの子どもたちに正しい衛生行動を身につけてもらうことの重要性が高まってきました。そこで、2020年からは、未就学児に向けてのリモート授業や、教材提供により、小学校やろう学校、盲学校で先生が授業の一環として実施できるプログラムを制作し、提供してきました。盲学校教材の一部は、多くの社員がボランティアで制作。社員に対するESG活動への理解促進と参画意識の醸成を図ることにつながっています。

ステークホルダーとの協働

花王は、社会の変化に対応したプログラムの提供を通じて子どもたちの“生きる力”を育み、“課題を解決する力”を養うための次世代育成活動に取り組んでいます。プログラム開発にあたっては、教育の現場で活用していただけるよう、行政・自治体・学校などと連携して内容の充実を図っています。

リスク管理

社会の要請に対応した啓発活動であるために、常にステークホルダーの声に耳を傾けるよう努めると共に、パンデミック下においても社員が出向かずとも啓発活

動を教育現場で継続していただくために、教育プログラムを教材提供型にするなど、目標達成に向けてやり方の見直しを図っています。

P33 Our ESG Vision and Strategy > リスク管理

目標と指標

中長期目標と2022年実績

2030年長期目標

- 花王の製品やサービスを使い、清潔で美しくすこやかな習慣を身につけるために実施した啓発活動で到達した累積人数
- 2030年目標:1億人

日本では、学校の先生が自ら実施できる教材の提供を中心に、リモート形式を含む出張授業も併せて多くの教育機関へアプローチし、未就学児や児童の衛生習慣の定着をめざしています。また、アジア地域や欧米においても、日本と同様に、正しい情報発信や衛生啓発活動を広げていきます。

2022年実績

0.63億人

清潔で美しくすこやかな習慣

2022年実績に対する考察


引き続き、教育機関・公共団体・自治体などとの横断的なコラボレーションにより、啓発活動を推進。啓発活動で到達した累計人数は、2030年の目標に対して計画通り進んでいます。

清潔で美しくすこやかな習慣

主な取り組み


教材提供による次世代育成

花王は、“自分の衛生状態を保つ”ことは、“社会(身近な人たち)の衛生状態を保つ”ことにつながるという考えのもと、社会の変化に対応したプログラムの提供を通じて子どもたちの“生きる力”を育み、“課題を解決する力”を養うための次世代育成活動に取り組んでいます。

 花王次世代育成
<https://www.kao.com/jp/education/next-generation/>

衛生習慣化プログラム「みんなで手洗い 小学校1・2年生向け」


コロナ禍において、小学校低学年の段階で手あらいやマスクをする意味を楽しく学び、衛生習慣を身につける衛生習慣化プログラム「みんなで手洗い」。2021年4月より無償で提供を開始し、2022年12月時点で、全国約2万校ある小学校のうち、累計で1万校を超える学校でご活用いただいています。本プログラムの制作にあたっては、多くの小学校の先生にご協力いただきました。

 みんなで手洗い(新・衛生習慣化プログラム)
<https://www.kao.com/jp/education/next-generation/handwash/>

衛生習慣化プログラム「みんなで手あらい ろう学校向け」

聴覚に障がいがある子どもたちが、楽しみながら衛生習慣を身につけることができる衛生習慣化プログラム「みんなで手あらい ろう学校向け」。2021年9月より提供を開始し、2022年12月時点で、全国のろう学校のうち約60%でご活用いただいています。本プログラムの制作にあたっては、多くのろう学校の先生にご協力いただきました。また、聴覚障がいを持つ花王グループ社員を中心とした社内コミュニティ「KAKEHASHI(かけはし)」*のメンバーも制作に携わりました。

*「KAKEHASHI」は、聴覚障がいを持つ社員を中心に、2020年12月に結成した社内コミュニティです。「聞こえないときこえる人、将来的にはすべての人の悩みを共有しながら、協調して未来への架け橋となるように」という思いのもと、さまざまな社会的課題の解決に向けて社内外で取り組んでいます。

 みんなで手あらいろう学校向け(新・衛生習慣化プログラム)
https://www.kao.com/jp/education/next-generation/handwash_deaf/

衛生習慣化プログラム「みんなで手あらい 盲学校向け」

視覚に障がいのある子どもたちにも、衛生的な習慣を身につけてほしいと考え、盲学校向け教材を制作しました。教材の制作にあたっては、多くの盲学校の先生のご意見をもとに、視覚に障がいのある子どもたちが上手な手洗いを楽しく学べるよう、さまざまな工夫を施しています。例えば、スライド教材は、弱視の子どもたちに配慮して、白黒の反転文字やシンプルなイラスト

トを採用。また、指で触れるだけでも洗い残ししやすい箇所が簡単にわかる、オリジナルの手袋を制作し、手洗い指導用の教材として提供しています。この教材は、多くの社員がボランティアで制作しました。また、子どもたちや保護者に向けた、点字シール付きメッセージカードの制作・梱包は、知的障がいを持つ、特例子会社 花王ピオニー株式会社の社員が行いました。



社員ボランティアによる教材制作



花王ピオニーの社員による教材の制作・梱包

清潔で美しくすこやかな習慣



みんなで手洗い盲学校向け(新・衛生習慣化プログラム)
https://www.kao.com/jp/education/next-generation/handwash_visually/

衛生習慣化プログラム「みのまわりをきれいに」

衛生習慣化プログラム「みんなで手洗い 小学校1・2年生向け」により、手洗いを習慣化した次のステップとして、身の回りを「衛生的に保つこと」の大切さを理解する、衛生習慣化プログラム「みのまわりをきれいに」。2021年9月より提供を開始し、2022年12月時点で、全国約1,400校(累計)の小学校でご活用いただいています。



みのまわりをきれいに(新・衛生習慣化プログラム)
<https://www.kao.com/jp/education/next-generation/personal/>

環境プログラム「ごみゼロチャレンジ」

ごみを減らすための工夫や努力を学ぶことを通して、社会課題に対して自分の考えを持つと共に、主体的にかかわり、課題を解決する力(社会に参画する力)を育むことをねらいとしたプログラム「ごみゼロチャレンジ」を開発。小学校4・5年生を対象に、2022年4月より提供しています。本プログラムは、和歌山市と花王のSDGs推進に関する連携の取り組みのもと、和歌山大学教育学部附属小学校にご協力いただき完成しました。2022年12月時点で、全国の500を超える小学校でご活用いただいています。



P364 社会貢献活動 > 花王・ベトナム衛生プログラム

P365 社会貢献活動 > 月経衛生環境向上への貢献

インドネシアでも手洗い啓発を展開 (WOTA 株式会社との協業)

花王インドネシアは、ジャカルタ中心部の歩行者天国に自立型手洗いスタンド「WOSH」を設置し、外出先での手洗いを啓発する一方で、インドネシアの衛生省、教育省と共に小・中学校の生徒を対象に衛生習慣の大切さを啓発する学校支援教育プログラム「Anak Kao」の一環として4校に「WOSH」を試験的に導入し、衛生意識の向上と手洗いの定着習慣化に対する実証を行いました。

ここで得られた知見をもとに、今後はより現地の衛生状況や意識・実態、インフラにアジャストしたソリューションの提案に向けて実証を重ねていく予定です。



花王とWOTAが「水」と「衛生」に関する領域で業務提携
<https://www.kao.com/jp/newsroom/news/release/2022/20220302-001/>



米国でも手洗い啓発を展開

花王USAは、2021年3月より、米国の小学校児童を対象に、衛生習慣の大切さを教えるための新しいプログラム「Clean Routine for Healthy Hands」を、「MyKirei by KAO」ブランドで展開しています。このプログラムは、日本で展開している新・衛生習慣化プログラムを応用して開発したもので、現地に合わせて内容をブラッシュアップしながら進めています。手洗いを「毎日やらなければいけない作業」ではなく「楽しいこと」と思ってもらえるような内容となっており、先生たちの児童への手洗い指導をサポートしています。

2022年12月時点で、累計で14校に教材を提供しており、今後、展開校を拡大していく予定です。

清潔で美しくすこやかな習慣

社員の声

世界中の皆さまに清潔をお届けするために

花王株式会社
ヘルス&ビューティーケア
商品事業開発センター
パーソナルヘルス商品開発部

石井 直子



2022年、コロナ禍により東京マラソン大会の実施が危ぶまれる中、洗浄剤の立ち上げから大会に間に合わせるまで8ヵ月間という期間で、事業 ESG 推進部をはじめ、研究部門や関連部門と連携し、検討を重ねながら怒涛のスタートでした。特に生産面で困難を極める中、SCM 部門や東京工場など生産部門の強力な後押しに何度も支えられ、水の使えない環境において花王の清潔をお届けする、自立型循環洗浄機器「WOSH」の専用手指洗浄剤を完成させることができました。

世界中のあらゆる方に向けて、清潔をお届けするという花王の理念を展開することができたことは何よりも素晴らしい経験で、これまでに感じられなかった大きな喜びでした。マラソン大会では、消毒ボランティアとしても活動しましたが、事業 ESG 推進部の方々と共に、ランナーから「ありがとう」のお声を直接いただくことができました。

今後も歩みを止めることなく、さらなる「WOSH」の海外展開を見据え、挑戦し続けると共に、よりよきモノづくりに貢献していきたいと思えます。

社員の声

盲学校向け手洗い教材の制作に参加して

花王グループ
カスタマーマーケティング株式会社
プレスステージ部門 専門店部

小出 愛



このたび、盲学校向け手洗い教材の制作に、社員ボランティアで参加しました。「私にもできそう！」と気軽に参加しましたが、楽しみながら衛生習慣を身につけるよう工夫されたプログラムで、「Leave no one behind(誰ひとり、取り残さない)」といった考え方のもと制作されていることに感銘を受けました。私は、化粧品のインストラクターをしています。このたび、目のご不自由な子どもたちでも健常者と同じように楽しく学べる教材づくりに携わったことにより、スキルやマインドが異なる販売店の従業員の皆さまそれぞれに合わせたコミュニケーションをいかに図るかが、私の仕事のテーマになりました。

今後とも、販売店の従業員の皆さまに目的を理解し、前向きになっていただくことができるインストラクターでありたいと考えております。また、この次世代育成活動を通じて感じたことを共感し合える仲間が、花王の社内に増えたら素晴らしいと考えています。

清潔で美しくすこやかな習慣

ステークホルダー・エンゲージメント



寺田 智礼 氏

埼玉県立特別支援学校塙保己一学園 校長

埼玉県立特別支援学校塙保己一学園は、県内唯一の視覚障害教育を主とする特別支援学校です。本校は、幼稚部、小学部、中学部、高等部普通科、高等部専攻科と寄宿舎を設置しています。高等部専攻科は、高校または特別支援学校高等部を修了し、国家資格「あん摩マッサージ指圧師、はり師、灸師」取得をめ

ざす職業学科です。卒業生は国家資格取得者として、社会で活躍する皆さまに、社会の一員として、施術による癒しで貢献しています。

現代の学校教育は、教育D Xが到来し、情報端末がひとり1台という新たな局面を迎えています。私は、これまでの教科書、教科書に準拠した副教材、教師が工夫した自作教材にとられることなく、先端研究、企業、NPO、企業CSR、CSVを活用し、子どもたちに主体的・対話的で深い学びを充実することで、生涯にわたる能動的な学びにつながるのではないかと考えています。今回、花王さまから、視覚障害のある子どもたちに、よりわかりやすく衛生習慣を学んでもらえる教材を提供したいというご提案をいただきました。子どもたちの特性に寄り添った教材制作を得意とする学校と衛生関連製品の開発を得意とする企業とのコラボレーションにより、互いの持ち味

を提供し合い、新たな教材の制作にいたりしました。何より、花王さまのご尽力により、全国の視覚障害教育を主とする特別支援学校に本教材は提供され、視覚障害のある子どもたちが、どうすれば自分の手洗いが上達するのかを身をもって体験し学習できた意義は大きいものがあります。

私は、「視覚障害児者の発達と自立、社会参加を支える拠点となる学校づくり」には、主役の子どもたちは勿論、保護者、地域の皆さま、教職員がそれぞれの立場でできることを一生懸命に取り組み、みんなの力を合わせ「私たちの学校」を前に進めていくことが必要と考えています。今後も、花王さまにおかれましては、学校教育、市民生活を豊かにするために、さまざまな協働を企画してほしいと思います。



埼玉県立特別支援学校塙保己一学園
<https://mo-sb.spec.ed.jp>